

白井市第2次地域福祉計画 「地域福祉に関する施策」にかかる主な取組 進行管理シート（令和3年度）

議題1-資料①

※各項目の一番右列にある「R4以降見直しあり」については、昨年度の会議で一部見直しの御審議をいただき決定した項目となります。

基本方針	(1) 地域における福祉サービスの適切な利用の促進
施策の方向	①相談支援体制の整備

事業	既存窓口の周知・利用促進
取り組み目標	複合的な課題を抱える市民が増加傾向にある中、その人に合った相談支援を行うため、相談窓口の周知を徹底する。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉ガイドブックや子育てガイドブックを作成し、健康、高齢者、障がい者、子育て支援の各分野の窓口を設置するなど適切な支援を行っていく。 庁内各課で関連する分野の制度やサービスの情報を共有し、市民に分かりやすく伝えるための周知方法について検討する。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
1	保健福祉ガイドブックの発行	社会福祉課	保健福祉ガイドブックの発行 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 保健福祉の制度やサービス、相談窓口等を周知するため保健福祉ガイドブックを作成し、窓口等での配布やホームページに掲載する。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	上段:発行部数 下段:配布部数	31	2,300 1,990	部 部	A	窓口での相談や、転入時の手続きの際に配布し市の保健福祉事業に関する案内ができた。 今後も保健・福祉の制度改正などに対応するため、年1回内容の見直しを行いながら作成・配布していく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	2,300 1,990	部 部	A	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	2,300 1,990	部 部	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						
2	周知方法の検討	社会福祉課、関係課	市民に分かりやすい情報提供の手法の検討 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 各課で作成しているパンフレットやガイドブック等(保健福祉ガイドブックを除く)の周知方法を福祉部及び健康子ども部連絡調整会議等で検討する。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	連絡調整会議の開催	31	1	回	C	連絡調整会議(書面開催)により福祉部・健康子ども部相互の連携調整を図るとともに各課の主任が中心となり、他課の取組や市民への周知方法を共有した。 今後ともわかりやすい福祉情報の提供について庁内等で検討していく。
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	12	回	B	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	12	回	B	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

R4以降見直しあり

事業	身近な相談窓口の設置
取り組み目標	地域で気軽に相談できる相談窓口の設置を進める。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員・児童委員と市の関係機関との連携を深めるため、市の取り組みや新たな制度の周知の場を定期的に設け、民生委員・児童委員のスキルアップにつながるよう連絡協議会に活動補助金を交付する。 地域住民が身近な場所で気軽に相談ができるよう、地区社会福祉協議会拠点事務所での、地域の相談窓口設置を進める。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
3	民生委員・児童委員活動への支援	社会福祉課	民生委員・児童委員活動への支援 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 毎月1回(8月を除く)理事会・定例会を開催し、市や関係団体から民生委員等への情報伝達・連絡調整を行う。 民生委員児童委員連絡協議会の運営や研修等にかかる費用を補助することで、スキルアップを図り、多様化する相談や見守り等の活動を支援する。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	上段:理事会・定例会開催回数 下段:研修等の実施回数	31	理事会 11 定例会 10 研修会 6	回 回	A	新型コロナウイルス感染症対策として、定例会は4地区に分かれて会議を行い、理事会を含めて概ね予定通り実施することができた。 その際、市や関係団体からの資料配布などにより連絡調整を図ることができた。 今後も継続して活動の支援を行っていく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	理事会 10 定例会 7 研修会 3	回 回	B	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	理事会 11 定例会 9 研修会 1	回 回	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						
4	地区社会福祉協議会での相談窓口設置の推進	社会福祉協議会	地区社会福祉協議会での相談窓口設置の検討 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 身近な場所での相談窓口として、地区社会福祉協議会の拠点を活用した相談窓口設置と推進を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	相談窓口設置数	31	9	地区	A	新型コロナウイルス感染症の拡大により、相談で利用される方は減少している。 今後も地区社協と市社協が連携し拠点を活用した相談窓口体制の充実を図っていく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	9	地区	A	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	9	地区	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

事業	相談内容に応じた連携体制の整備
取り組み目標	相談内容に応じて、速やかに関係機関につなぐ、有効な支援に結びつくための仕組みづくりを進める。
主な取り組み	・庁内の関係課や関係機関との連携体制を進め、横の連携によるケース会議の開催や、情報共有を行う。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
5	庁内の横断的な連携体制の推進	社会福祉課、関係課	横断的な連携体制の検討 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 各課において、複数の課や機関が連携して支援する必要のある市民や世帯を発見した場合、ケース会議を開催したり、電話や文書等により情報共有を図って、問題の優先度を決定して、支援方針や役割分担を協議して、連携して支援を行う。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	連携して対応した相談件数 (ケース会議件数/延べ相談件数)	31	24/838	件	B	各課において、複合的な問題を抱える相談者や世帯を発見した際に、関係課や機関でケース会議を開催して情報共有及び役割を確認し、支援方針や役割分担を確認して支援を行うことができた。 関係機関共通様式の「つなぐシート」の活用については必要性を含め引き続き検討していく。
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	15/664	件	B	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	17/535	件	B	
			<input type="checkbox"/> 未実施							

R4以降見直しあり

基本方針	(1) 地域における福祉サービスの適切な利用の促進
施策の方向	②わかりやすい福祉情報の提供・共有

事業	福祉サービス・施設の情報提供
取り組み目標	市民が適切に福祉サービスや施設を適切に利用できるよう、わかりやすい情報提供を進める。
主な取り組み	・保健福祉ガイドブックや子育てガイドブックを作成し、健康、高齢者、障がい者、子育て支援の各分野の窓口を設置するなど適切な支援を行っていく。 ・庁内各課で関連する分野の制度やサービスの情報を共有し、市民に分かりやすく伝えるための周知方法について検討する。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
1	保健福祉ガイドブックの発行 ※再掲	社会福祉課	保健福祉ガイドブックの発行 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 保健福祉の制度やサービス、相談窓口等を周知するため保健福祉ガイドブックを作成し、窓口等での配布やホームページに掲載する。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	上段:発行部数 下段:配布部数	31	2,300 1,990	部 部	A	窓口での相談や、転入時の手続きの際に配布し市の保健福祉事業に関する案内ができた。 今後も保健・福祉の制度改正などに対応するため、年1回内容の見直しを行いながら作成・配布していく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	2300 1,990	部 部	A	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	2,300 1,990	部 部	A	
			<input type="checkbox"/> 未実施							
2	周知方法の検討 ※再掲	社会福祉課、関係課	市民に分かりやすい情報提供の手法の検討 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 各課で作成しているパンフレットやガイドブック等(保健福祉ガイドブックを除く)の周知方法を福祉部及び健康子ども部連絡調整会議等で検討する。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	連絡調整会議の開催	31	1	回	C	連絡調整会議(書面開催)により福祉部・健康子ども部相互の連携調整を図るとともに各課の主任が中心となり、他課の取組や市民への周知方法を共有した。 今後もわかりやすい福祉情報の提供について庁内等で検討していく。
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	12	回	B	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	12	回	B	
			<input type="checkbox"/> 未実施							

R4以降見直しあり

事業	福祉課題・情報の共有
取り組み目標	市民や地域による主体的な福祉課題の把握のための活動を支援し、情報を共有していく。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみネットワーク会議や第1層協議体を開催し、地域課題を共有し、地域で解決する体制づくりを進める。 ・事例検討会や地域ケア会議を通じて、多職種の連携ネットワークを強化する。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
6	地域ぐるみネットワーク会議等の開催	高齢者福祉課、社会福祉協議会	地域ぐるみネットワーク会議や第1層協議体の開催 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 ・生活支援体制整備によるふれあい会議を圏域ごとに実施し、資源の創出を図る。 ・市全域を対象とした第1層協議体を定期開催する。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	上段:ふれあい会議開催数 下段:第1層協議体開催数	31	13 2	回 回	B	千葉県によるアドバイザー派遣事業を受け、事業の方向性や進め方の整理を行った。コロナ禍において、日常生活圏域単位で地域住民を集めての会議開催が困難であったため、小学校区単位や自治会単位など、地域を限定し開催した。 今後は市全域を対象とした協議体の役割を明確にし、地域ぐるみネットワーク等の活動を定期的に開催していく。
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	19 3	回 回	B	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	7 3	回 回	B	
				<input type="checkbox"/> 未実施						
7	高齢者の地域ケア会議の運営	高齢者福祉課	高齢者の地域ケア会議の運営 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 ・自立支援型、課題支援型、権利擁護型など、目的に応じて多様な個別会議を実施する。 ・個別会議で把握した課題を集約し、政策形成につなげる地域ケア推進会議を開催する。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	会議の実施回数	31	17	回	B	個別ケースの検討を行う地域ケア個別会議については定期的に開催し、個別課題の抽出、地域課題の整理を行った。 地域ケア推進会議については、庁内関係課と移動支援に関して開催した。 次年度は、地域ケア推進会議で施策形成に向けた検討を行っていく。
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	17	回	B	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	16	回	B	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

基本方針	(1) 地域における福祉サービスの適切な利用の促進
施策の方向	③必要なサービスが提供されるしくみづくり

事業	地域福祉の活動拠点整備
取り組み目標	小学校区ごとに地域福祉の活動拠点を整備し、市の関係機関との連携を進める。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校区地区社会福祉協議会の活動拠点の光熱水費や事務員の人件費など運営にかかる経費を補助することで、継続的な活動を支援する。 ・地域福祉コーディネーターとしての人材育成を目的とした研修会への参加を促し、市職員による地区担当職員の配置を進める。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
8	地域ぐるみ福祉ネットワーク事業補助金の交付	社会福祉課	地域ぐるみ福祉ネットワーク事業補助金の交付 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 小域圏における様々な課題の解決のため、地区社会福祉協議会の拠点運営にかかる経費を補助し、地域での支え合い活動の継続を図る。また、1地区のみ拠点を共用しているため、引き続き拠点整備の検討を行う。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	上段:活動拠点数 下段:補助金の額	31	9 7,486,963	箇所 円	A	各小学校区の地区社会福祉協議会に対し、拠点運営に係る経費の補助を行った。その結果、新型コロナウイルス感染症の影響により休止せざるを得ない期間もあったが、地域での支え合い活動の継続を図ることができた。 共用している拠点の整備については、引き続き検討していく。
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	9 7,396,704	箇所 円	B	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	9 7,741,952	箇所 円	B	
				<input type="checkbox"/> 未実施						
9	地域福祉にかかる担当職員の配置	社会福祉課	担当職員配置の検討 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 市及び地域の課題・ニーズを解決するための取り組みをコーディネートできる職員の配置を検討する。また、担当職員の育成のためにコミュニティソーシャルワーカー研修への参加を促す。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	上段:担当職員配置数 下段:コミュニティソーシャルワーカー研修への参加者数	31	0 0	人 人	D	3年度はコミュニティソーシャルワーカー研修に社会福祉課職員1名が受講した。福祉事務所内専門職(ケースワーカー等)配置人数(R3:18人) コミュニティソーシャルワーカー研修参加状況(H24:1人、H26:2人、R3:1人受講) 近年の研修受講者減少を踏まえ、次年度以降の実績指標の見直しを行うほか、専門研修資料の配布や復命講習を行っていく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	0 0	人 人	D	
				<input checked="" type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	1 1	人 人	C	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

事業	福祉人材資質向上の推進
取り組み目標	市民や地域による主体的な福祉課題の把握のための活動を支援し、情報を共有する。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 市民大のプログラムの充実し、周知を図っていく。 市民が入りやすいボランティア養成講座を検討し、参加を呼びかけるとともに、修了者に個人ボランティアや団体の情報を提供する。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針	
10	市民大のプログラムの充実・周知	生涯学習課	学部、講義内容の検討・周知 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 友人や健康づくりを通じて、生涯にわたる自主的な学習の 実践や地域への愛着と生きがいのある地域生活の実践を 目指し、市民がまちづくりに参画するきっかけとなるよう体 系的にプログラムを提供する。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	各学部の講座回数	31	いきいきシニア 18 ささえあい発見 16	回	A	いきいきシニア学部15名、ささえあい発見学 部10名が卒業した。 学部の統廃合から3年が経過することとなり、 定員を満たしていない現状から、対象年齢や 開催曜日について、市民アンケートや受講者 への受講後のアンケート等による検証が必 要。	
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	単発講座 2	回	D		
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	いきいきシニア 18 ささえあい発見 17	回	A		
11	各種ボランティア養成講座の開催	社会福祉協 議会	各種ボランティア養成講座の開催、講座内容の検討 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 住民のニーズに沿った講座の開催。 災害に関わる講座の開催。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	講座開催回数	31	30	回	B	新型コロナウイルス感染症は収束していない が、感染に十分配慮して実施可能な講座を進 めた。 今後も感染対策を講じた上で、災害や福祉等 に関するボランティア養成講座を開催してい く。	
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	2	回	C		
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	25	回	B		
	基本方針	(2) 社会福祉事業の健全な発達の促進									
	施策の方向	① 地域福祉サービスの参入促進									

事業	民間サービス事業者の参入促進
取り組み目標	民間事業者の地域福祉活動や福祉事業への参入を促進する。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみネットワーク会議の周知を行い、福祉関係団体だけでなく、NPO法人や他分野の事業者などにも参加を呼びかける。 高齢者見守り事業への協力事業者・協力団体の募集や事業の周知を行う。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
12	地域ぐるみネット ワーク会議への参 加促進	高齢者福祉 課	地域ぐるみネットワーク会議運営への支援 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 ・生活支援体制整備によるふれあい会議を圏域ごとに実施 し、資源の創出を図る。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	ふれあい会議開催数	31	13	回	B	コロナ禍において、日常生活圏単位で地域 住民を集めての会議開催が困難であったた め、小学校区単位や自治会単位など、地域を 限定し開催した。 今後は個別ケース支援を軸に当該事業の推 進を図る方針であり、地域を限定した形で の実施、資源創出を進めていく。
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	1	回	C	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	7	回	B	
13	高齢者見守り事業 の参加促進	高齢者福祉 課	見守り事業協力事業者の周知・募集 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 ・しろう高齢者みまもりネットワークについて、協定事業者・ 協力団体・協力機関が増えるよう働きかけを行う。 ・所在不明高齢者の発見や消費者被害の予防について、 メールやファックスにて協力を呼びかける。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	みまもりネットワーク協 定・協力数	31	291	箇所	A	令和3年度1件指定事業者が増えた。市内の 多くの事業所等に加入してもらっている。今後 も新規事業所等に加入の働きかけを行って いく。 年2回活動の事例や消費者被害の状況等 をお知らせする見守りレポートを発行し、活動 の協力を呼びかけた。また、消費生活セン ターから情報提供のあった消費者被害の 手口について、注意喚起を行った。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	280	箇所	A	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	281	箇所	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

事業	新たなサービスや活動の開発支援
取り組み目標	地域ぐるみネットワーク会議から出た課題に対し、新たなサービスや活動への支援や助言を行う。
主な取り組み	・地域ぐるみネットワーク会議から出た課題に対し、新たなサービスへの事業者の参加について助言を行い、当該サービスの実現に向けて支援を行う。(買い物支援、移動支援など)

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
14	新たなサービス実現への支援	高齢者福祉課	地域ぐるみネットワーク会議での地域課題に対する助言・調整 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 生活支援体制整備によるふれあい会議を圏域ごとに実施し、地域課題を把握するとともに、第1層協議体や地域ケア推進会議にその課題を報告し、新たなサービスの実現につなげる。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	創出したサービス数	31	2	サービス	A	生活支援コーディネーターが関与し、創出したサービスは生活上の困りごとを支援する1団体となる。今後は市全域を対象とした第1層協議体の役割を明確にし、地域ぐるみネットワーク等の活動の推進を図り、不足する資源の創出を目指していく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	0	サービス	C	
				<input checked="" type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	1	サービス	C	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

基本方針	(2)社会福祉事業の健全な発達の促進
施策の方向	②福祉・保健・医療と生活関連分野との連携強化

事業	福祉・保健・医療事業者の連携強化の支援
取り組み目標	福祉・保健・医療の各分野と日常生活関連サービス事業との連携を強化することで、多様なサービスが提供される基盤づくりを進める。
主な取り組み	・医療・介護事業者が参加できる多職種連携研修会を実施する。 ・支援を要する人に対しての地域の支援方針について検討する、地域ケア会議を運営する。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
15	多職種連携研修会の実施	高齢者福祉課	多職種連携研修会の実施 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 ・医療、介護の連携が図られるよう、多職種が参加する研修会を実施する。 ・市内の医療・介護の専門職からなるワーキンググループを組織し、企画の段階から協働で実施することにより、さらに連携を図っていく。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	研修会の実施回数	31	3	回	A	感染症予防対策をテーマに研修会を6回開催、多くの介護・障害施設従事者の参加があり基本的な対応を学べる機会の提供につながった。 今後も医療・介護事業者が参加できる多職種研修を実施していく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	0	回	D	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	6	回	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						
7	高齢者の地域ケア会議の運営 ※再掲	高齢者福祉課	高齢者の地域ケア会議の運営 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 ・自立支援型、課題支援型、権利擁護型など、目的に応じて多様な個別会議を実施する。 ・個別会議で把握した課題を集約し、政策形成につなげる地域ケア推進会議を開催する。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	会議の実施回数	31	17	回	B	個別ケースの検討を行う地域ケア個別会議については定期開催を行い、個別課題の抽出、地域課題の整理を行った。 地域ケア推進会議については、庁内関係課と移動支援に関して開催した。 次年度は地域ケア推進会議で施策形成に向けた検討を行っていく。
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	17	回	B	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	16	回	B	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

基本方針	(2) 社会福祉事業の健全な発達の促進
施策の方向	③ 社会福祉協議会等との連携強化
事業	社会福祉協議会への支援
取り組み目標	社会福祉協議会が、市の地域福祉の中核的な組織として貢献できるよう支援・連携する。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会を運営する職員の人件費や管理費を補助する社会福祉協議会管理事業補助金を交付し、市社会福祉協議会の運営を補助する。 生活支援コーディネーターの設置などの日常生活支援総合事業を市社会福祉協議会に委託し、事業の推進について連携する。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
16	社会福祉協議会管理事業補助金の交付	社会福祉課	補助金対象経費の精査及び必要経費の検討、補助金の交付 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 社会福祉協議会の運営を補助するため、職員の人件費及び管理費の一部にかかる補助金を交付する。また、補助金の内容を精査するため、ヒアリングを行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	上段: 補助金交付額 下段: ヒアリング回数	31	41,566,958 1	円 回	A	3年度については、職員の人件費及び管理費の一部に該当する費用を補助金として支出した。また、ヒアリングについては、2回実施し、その中で補助対象経費の精査や必要経費の検討を行った。 今後も市の地域福祉の中核的な役割を担う社協に対して運営を補助していく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	41,975,430 1	円 回	A	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	42,422,009 2	円 回	A	
17	日常生活支援総合事業の委託	高齢者福祉課	社会福祉協議会へ日常生活支援総合事業の委託・連携 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 生活支援コーディネーターを設置し、住民主体の交流機会や助け合い活動の創出を図るための業務委託を行う。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	取り組みの創出数	31	2	サービス	B	生活支援コーディネーターの配置及び協議体の運営を社会福祉協議会に委託。生活支援コーディネーターを4名配置している。創出されたサービスは生活上の困りごとを支援する1団体となる。 今後は取組項目を「生活支援体制整備事業の委託」に変更し市全域と対象とした第1層協議体の役割を明確にし、地域ぐるみネットワーク等の活動の推進を図り、不足する資源の創出を目指していく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	0	サービス	C	
				<input checked="" type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	1	サービス	C	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

事業	地区社会福祉協議会への支援
取り組み目標	小学校区ごとに設立された地区社会福祉協議会の活動について支援を行う。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 小学校区地区社会福祉協議会の活動拠点の光熱水費や事務員の人件費など運営にかかる経費を補助することで、継続的な活動を支援する。 地区社会福祉協議会が行う地域福祉活動に対し、補助金を交付し支援する。 地区社会福祉協議会の拠点未整備地区について、拠点の整備の検討を進める。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
8	地域ぐるみ福祉ネットワーク事業補助金の交付 ※再掲	社会福祉課	地域ぐるみ福祉ネットワーク事業補助金の交付 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 小域圏における様々な課題の解決のため、地区社会福祉協議会の拠点運営にかかる経費を補助し、地域での支え合い活動の継続を図る。また、1地区のみ拠点を共用しているため、引き続き拠点整備の検討を行う。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	上段: 活動拠点数 下段: 補助金の額	31	9 7,486,963	箇所 円	A	各小学校区の地区社会福祉協議会に対し、拠点運営に係る経費の補助を行った。その結果、新型コロナウイルス感染症の影響により休止せざるを得ない期間もあったが、地域での支え合い活動の継続を図ることができた。 共用している拠点の整備については、引き続き検討していく。
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	9 7,396,704	箇所 円	B	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	9 7,741,952	箇所 円	B	
				<input type="checkbox"/> 未実施						
18	地区社会福祉協議会への活動支援補助金の交付	社会福祉協議会	活動支援補助金の交付 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 地区社会福祉協議会9地区に基準に沿った補助金を交付し、各地区の実情に則した補助金の有効活用を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	上段: 交付した地区の数 下段: 補助金の額	31	9 3,679,557	地区 円	A	新型コロナ感染症により、地区社協活動が制限され、事業の縮小や中止を余儀なくされたが、各地区社協の実態に即した補助金を交付し、できる範囲で有効に活用できた。 今後も運営にかかる経費を補助し、継続的な活動を支援していく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	9 1,522,044	地区 円	A	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	9 1,226,591	地区 円	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

基本方針	(3)地域福祉活動への住民参加の促進
施策の方向	①NPO法人・ボランティア団体の活性化支援

事業	市民団体等の育成支援や多様な交流の機会の充実
取り組み目標	NPO法人やボランティア団体の活動を広く紹介し、同種・異種の活動団体間での交流の機会を充実する。
主な取り組み	・事業者が行うサロンの情報や、福祉活動などについて、情報提供や支援を行う。 ・しろい市民まちづくりサポートセンターの機能を強化し、市民団体の育成の推進を図る。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
19	サロンの代表者会議の開催	高齢者福祉課	サロンの代表者会議の開催 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 ・市内でサロンを運営している団体や今後運営したいと考えている団体を対象に交流会議を開催し、研修や情報交換等を実施する。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	サロン代表者交流会議参加団体数	31	35	団体	A	新型コロナウイルス感染拡大のため、開催を見送った。 今後は取組項目を「通いの場の代表者会議の開催」に変更し、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施として、住民主体の通いの場の設置等を行っていく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	0	団体	D	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	0	団体	D	
				<input checked="" type="checkbox"/> 未実施						
20	しろい市民まちづくりサポートセンターの機能強化	市民活動支援課	しろい市民まちづくりサポートセンターの機能強化(拠点機能、情報収集・提供機能) 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 市民活動団体を支援するために必要な会議室等の貸出しなどの拠点機能の強化のため、運用事例を示すためのまちサポ事業を実施。また、市民活動に関する情報の収集・発信機能の強化するため、まちサポ通信の発行。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	しろい市民まちづくりサポートセンター利用者数	31	16,608	人	B	まちサポの拠点機能強化のため、講座やイベント等を行い、団体同士の交流を図った。 また、HP・フェイスブックの更新、「まちサポ通信」の発行を行い、各種セミナー、イベント、団体の活動情報を発信した。 新型コロナウイルスの影響により、イベント等が中止となるなど、市民活動団体の活動が制限されている中、工夫しながら活動した。
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	5,645	人	B	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	7,167	人	B	
				<input type="checkbox"/> 未実施						
21	市民団体活動支援補助金による助成	市民活動支援課	市民活動を促進し、発展させる支援補助金の交付 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 公益活動を実施する市民活動団体を支援するため、補助金のチラシ配布や説明会等の広報活動を重点的に行い、制度の周知を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	申請団体数	31	13	団体	A	補助金について説明会等での周知や広報紙・ホームページにおいて広報を行ったことにより、4団体からの応募があった。 市民活動推進委員会の審査結果により、4団体を採択し、それぞれの市民活動団体の公益活動が実施された。(審査後に1団体辞退)
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	10(5)	団体	A	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	4	団体	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

R4以降見直しあり

基本方針	(3)地域福祉活動への市民参加の促進
施策の方向	②地域福祉を担う人材の育成・確保

事業	地域福祉コーディネーターの養成・配置
取り組み目標	地域課題やニーズの解決に向けてコーディネートする人材を養成し、小学校区ごとに配置する。
主な取り組み	・地域福祉コーディネーターとしての人材育成を目的とした研修会への参加を促し、市職員による地区担当職員の配置を進める。 ・地域での生活支援活動の担い手の発掘と養成を進め、生活支援コーディネーターの配置を目指す。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
9	地域福祉にかかわる担当職員の配置 ※再掲	社会福祉課	担当職員配置の検討 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 市及び地域の課題・ニーズを解決するための取り組みをコーディネートできる職員の配置を検討する。 また、担当職員の育成のためにコミュニティソーシャルワーカー研修への参加を促す。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	上段:担当職員配置数 下段:コミュニティソーシャルワーカー研修への参加者数	31	0 0	人 人	D	3年度はコミュニティソーシャルワーカー研修に社会福祉課職員1名が受講した。 福祉事務所内専門職(ケースワーカー等)配置人数(R3:18人) コミュニティソーシャルワーカー研修参加状況(H24:1人、H26:2人、R3:1人受講) 近年の研修受講者減少を踏まえ、次年度以降の実績指標の見直しを行うほか、専門研修資料の配布や復命講習を行っていく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	0 0	人 人	D	
				<input checked="" type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	1 1	人 人	C	
22	生活支援コーディネーターの配置	社会福祉協議会	社協職員による地区担当制の実施、生活支援コーディネーター配置の検討 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 ・社会福祉協議会に、生活支援体制整備に基づく生活支援コーディネーターを配置する。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	配置人数	31	4	人	A	生活支援コーディネーターを適正に配置することができた。 次年度からは高齢者福祉課に担当課を変更し、市全域及び各日常生活圏域に生活支援コーディネーターの配置及び生活支援コーディネーター研修への参加を促進していく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	3	人	B	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	4	人	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

R4以降見直しあり

事業	人材育成のための講座の充実
取り組み目標	ボランティアセンターのボランティア養成講座をはじめ、地域の人材育成の機会を増やす。
主な取り組み	・ボランティア養成講座や市民向けコーディネート講座など、地域人材育成の機会を増やす。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
11	各種ボランティア養成講座の開催 ※再掲	社会福祉協議会	各種ボランティア養成講座の開催、講座内容の検討 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 住民のニーズに沿った講座の開催。 災害に関わる講座の開催。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	講座開催回数	31	30	回	B	新型コロナウイルス感染症は収束していないが、感染に十分配慮して実施可能な講座を進めた。 今後も感染対策を講じた上で、災害や福祉等に関するボランティア養成講座を開催していく。
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	2	回	C	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	25	回	B	
				<input type="checkbox"/> 未実施						
23	市民向けコーディネート講座の開催	市民活動支援課	市民向けコーディネート講座の開催 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 地域づくりコーディネート講座の開催 [目的] 地域での会議や話し合いをうまく進めるために必要なファシリテーション技術を実践的に学び、活動の活性化や地域づくりにつながるコーディネートスキルを身につける。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	受講者数	31	32	人	B	市民講座として地域づくりコーディネート入門講座(1回、参加者数8人)の開催により、市民のコーディネート能力の向上が図られた。
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	14	人	B	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	8	人	B	
				<input type="checkbox"/> 未実施						
10	市民大学のプログラム充実・周知 ※再掲	生涯学習課	学部、講義内容の検討・周知 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 友人や健康づくりを通じて、生涯にわたる自主的な学習の実践や地域への愛着と生きがいのある地域生活の実践を目指し、市民がまちづくりに参画するきっかけとなるよう体系的にプログラムを提供する。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	各学部の講座回数	31	いきいきシニア 18 ささえあい発見 16	回	A	いきいきシニア学部15名、ささえあい発見学部10名が卒業した。 学部の統廃合から3年が経過することとなり、定員を満たしていない現状から、対象年齢や開催曜日について、市民アンケートや受講者への受講後のアンケート等による検証が必要。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	単発講座 2	回	D	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	いきいきシニア 18 ささえあい発見 17	回	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

基本方針	(3)地域福祉活動への市民参加の促進
施策の方向	③地域福祉に関する協力連携の拡充

事業	地域連携体制の構築
取り組み目標	地域のまちづくりなどに関わる様々な団体や事業者が横断的に連携し、地域福祉の向上に向けて取り組む連携体制の構築を進める。
主な取り組み	・地域ぐるみネットワーク会議や第1層協議体を開催し、地域課題を共有し、地域で解決する体制づくりを進める。 ・妊娠から子育て期まで一体的に支援を行う体制づくりの拠点として、子育て世代包括支援センター設置の検討を行う。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
6	地域ぐるみネットワーク会議等の開催 ※再掲	高齢者福祉課、社会福祉協議会	地域ぐるみネットワーク会議や第1層協議体の開催 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 ・生活支援体制整備によるふれあい会議を圏域ごとに実施し、資源の創出を図る。 ・市全域を対象とした第1層協議体を定期開催する。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	上段:ふれあい会議開催数 下段:第1層協議体開催数	31	13 2	回 回	A	千葉県によるアドバイザー派遣事業を受け、事業の方向性や進め方の整理を行った。コロナ禍において、日常生活圏域単位で地域住民を集めての会議開催が困難であったため、小学校区単位や自治会単位など、地域を限定し開催した。 今後は市全域を対象とした協議体の役割を明確にし、地域ぐるみネットワーク等の活動を定期的に開催していく。
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	19 3	回 回	B	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	7 3	回 回	B	
24	子育て世代包括支援センターの設置	子育て支援課、保育課、健康課	子育て世代包括支援センター設置の検討 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 令和2年度からの子育て世代包括支援センターの設置に向けて、関係課による検討会を行うと共に研修会を実施し、平成31年度に向けて関係課での取り組みや課題を明らかにする。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	上段:子育て支援課・保育課・健康課での検討会の実施 下段:千葉県の「アドバイザー派遣事業」を活用した研修会の実施	31	4 0	回 回	B	令和3年1月に子育て世代包括支援センターを開設し、運営が始まっているため、検討会の実施は不要。順調に進んでいる。 今後は取組項目を「子育て世代包括支援センターの運営」として切れ目のない包括的な支援を行うための周知や従事者研修を行っていく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	2 0	回 回	A	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3				
				<input type="checkbox"/> 未実施						

事業	まちづくり協議会設立への支援
取り組み目標	小学校区を単位とした「まちづくり協議会」の設立を促進する。
主な取り組み	・小学校区ごとに、様々な分野の団体や事業者を交えた意見交換会を開催する。 ・モデル小学校区によるまちづくり協議会設立の支援を行う。 ・既存地域ぐるみネットワーク会議との調整を行う。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
25	小学校区ごとの意見交換会等の開催	市民活動支援課、社会福祉協議会	小学校区ごとの意見交換会等の開催 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 小学校区単位のまちづくりの機運を醸成するため、小学校区ごとに意見交換会を開催する。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	小学校区ごとの意見交換会等の開催数	31	4	回	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、モデル小学校区(白井第三小学校区、大山口小学校区)のまちづくり協議会設立が遅れたことから、新たな小学校区でのまちづくり意見交換会などは行えなかった。 モデル小学校区にて設立準備会を白井第三小学校区で6回、大山口小学校区で7回実施した。 また、地域活動からまちづくりを進めてきた白井第二小学校区において設立準備会を8回実施した。
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	15	回	C	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	21	回	B	
26	モデル小学校区によるまちづくり協議会の支援	市民活動支援課	モデル小学校区での設立支援 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 小学校区単位のまちづくり協議会を設立するモデル小学校区を1小学校区設定し、支援を行う。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	モデル小学校区の設定数	31	2	小学校区	A	令和4年2月にモデル小学校区(白井第三小学校区、大山口小学校区)において、小学校区まちづくり協議会が設立した。 また、地域活動からまちづくりを進めてきた白井第二小学校区においては、令和4年1月に小学校区まちづくり協議会が設立した。 今後は「設立推進小学校区によるまちづくり協議会の支援」として取組を進めていく。
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	2	小学校区	B	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	2	小学校区	B	
27	既存地域ぐるみネットワーク会議との調整	市民活動支援課	既存地域ぐるみネットワーク会議との調整 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 小学校区単位のまちづくり意見交換会と地域ぐるみネットワーク会議などの既存の取り組みとの調整を行う。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	会議回数	31	1	回	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、モデル小学校区(白井第三小学校区、大山口小学校区)のまちづくり協議会設立が遅れたことから、新たな小学校区でのまちづくり意見交換会などは行えなかった。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	0	回	D	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	0	回	D	
				<input checked="" type="checkbox"/> 未実施						

R4以降見直しあり

基本方針	(4)避難行動要支援者に対する支援
施策の方向	①避難行動要支援者の避難支援体制の確立

事業	避難支援体制の整備
取り組み目標	日ごろから要支援者の支援を前提とした、避難場所・避難所・避難経路をはじめとする情報を共有し、避難支援体制の確立に努める。
主な取り組み	・防災倉庫や備蓄物資を点検・整理し、その情報を地域に提供する。 ・防災マップや防災マニュアルを整備し、地域と協力事業所との関係づくりを進める。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
28	防災倉庫や備蓄物資の点検、情報提供	危機管理課	防災倉庫や備蓄物資の整備、情報提供 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 物資の点検を行う。 整備状況についてホームページ等で周知する。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	点検の実施	31	1	回	A	棚卸が必要な備蓄物資の点検を1回実施した。 今後も備蓄物資の適切な維持管理に努めていく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	1	回	A	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	1	回	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						
29	防災マップや防災マニュアルの整備、情報提供	危機管理課	防災マップや防災マニュアルの整備、情報提供 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 ハザードマップの修正・周知を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	ハザードマップの修正・周知	31	0	回	A	避難所開設・運営マニュアルを整備し、市内の全自主防災組織に配布を実施した。 令和4年3月に内水ハザードマップを作成したものを、次年度に全戸配布して市民に周知していく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	1	回	A	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	1	回	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

基本方針	(4)避難行動要支援者に対する支援
施策の方向	②避難行動要支援者情報の適切な活用

事業	避難行動要支援者名簿の共有
取り組み目標	災害時に支援が必要な市民の情報を関係機関で共有し、要支援者、家族、代理者の同意を得たうえで、自治会や民生委員などの援護を担う組織・人材と共有する。
主な取り組み	・要支援者名簿の活用手法等について周知し登録を促進する。 ・関係機関等で名簿情報を共有し、日頃の見守り等活用を図っていく。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
30	要支援者情報の活用手法の周知、登録促進	危機管理課	要支援者情報の活用手法の周知、登録促進 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 要支援者登録者の追加登録促進。 回覧や広報誌、ホームページによる周知。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	ホームページの見直し実施	31	1	回	B	新型コロナウイルス感染症拡大による回覧配布の制限により、回覧は未実施となった。 引き続き、広報誌及びホームページによる周知のほか、要支援者登録者の追加登録促進に向けた取組を実施していく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	1	回	A	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	1	回	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						
31	要支援者情報の共有、活用	危機管理課、関係課	要支援者情報の共有・活用について検討 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 避難支援等関係者へ要支援者情名簿を配布する。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	情報の提供者数	31	0	箇所	C	一部の民生委員・児童委員に要支援者名簿を配布した。 今後は、原則全員の民生委員・児童委員に要支援者名簿を配布することなど、名簿の配布率を上げる取組を実施していく。
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	4	箇所	C	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	26	箇所	B	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

R4以降見直しあり

事業	避難支援プラン(個別計画)の策定
取り組み目標	市と地域の連携により、避難行動要支援者の情報を把握し、避難支援プラン(個別計画)の策定を進める。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 要支援者名簿などを基に、避難支援プランの策定を進める。 緊急時に適切な救急活動が行えるよう、救急医療情報キットの配布を進める。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針									
32	避難支援プラン(個別避難計画)の策定	危機管理課、高齢者福祉課、障害福祉課、関係課	避難支援プラン(個別避難計画)の策定手法の検討 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 全体計画(避難行動要支援者避難支援プラン)を策定する。 要支援者の個別避難計画を作成する。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	(H31.R2) 全体計画の策定	31	1	回	A	白井市避難行動要支援者避難支援プランを令和2年1月に策定済。今後は未検討となっている要支援者の個別避難計画の作成方法等について、関係各課と協議していく。									
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ							(R3) (上段)全体計画の策定 (下段)要支援者の個別避難計画の策定	2	1	回	A				
				<input checked="" type="checkbox"/> 一部遅れがある												3	10	回	C
				<input type="checkbox"/> 未実施															
33	救急医療情報キットの配布	高齢者福祉課、障害福祉課	高齢者や障がい者を対象とした救急医療情報キットの配布 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 平成30年度から障害者も対象として、配布場所を市内の地域包括支援センターと障害福祉課の窓口拡大する。 周知啓発のため、動画を制作し市ホームページに掲載、ポスターやチラシを作成する。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	配布数	31	950 (うち障がい者22)	本	A	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域のサロン等が休止されたため積極的な配布は行えていないが、配布率を上げるための周知啓発用動画(公式YouTube)の再生回数は伸びている。今後も、配布率を上げるために様々な媒体を活用した周知啓発活動に取り組んでいく。									
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ							2	760 (うち障がい者15)	本	B					
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある											3	787 (うち障がい者39)	本	B	
				<input type="checkbox"/> 未実施															

R4以降見直しあり

基本方針	(4)避難行動要支援者に対する支援
施策の方向	③避難行動要支援者に対する実地避難訓練の実施

事業	緊急時の援護可能な人材の拡充
取り組み目標	緊急時に要支援者を支援する人材を確保するため、救急救命講習受講を促進するなど、訓練を受けた人材の拡充に努める。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命講習開催の周知を行い、参加を呼びかける。 ボランティア講座を開催しボランティアを養成するなど、地域人材の育成に努める。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針								
34	救命救急講習の受講促進	危機管理課	救命救急講習の受講促進 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 救命救急講習の開催を周知する。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	市内の参加者数	31	23	人	B	市内在住・在勤者を対象に講習を2回開催した。引き続き広報等により講習会の開催について周知していく。								
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ							2	0	人	D				
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある											3	2	人	B
				<input type="checkbox"/> 未実施														
11 ※再掲	各種ボランティア養成講座の開催	社会福祉協議会	各種ボランティア養成講座の開催、講座内容の検討 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 住民のニーズに沿った講座の開催。 災害に関わる講座の開催。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	講座開催回数	31	30	回	B	新型コロナウイルス感染症は収束していないが、感染に十分配慮して実施可能な講座を進めた。今後も感染対策を講じた上で、災害や福祉等に関するボランティア養成講座を開催していく。								
				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね進んだ							2	2	回	C				
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある											3	25	回	B
				<input type="checkbox"/> 未実施														

事業	避難支援訓練の実施
取り組み目標	市や地域における避難訓練の際に、避難行動要支援者の支援訓練を行うなど、実地訓練を行う。また、訓練の結果を基に、防災・減災体制を見直していく。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で行う避難支援訓練を支援する。 ・訓練の結果を基に、地域防災体制見直しを行うなど体制の充実を図っていく。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
35	避難訓練の実施	危機管理課	地域の防災訓練の支援 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 白井市避難行動要支援者支援計画全体計画(仮)を策定する。 白井市避難行動要支援者支援計画全体計画(仮)に基づいて行う。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	全体計画の策定	31	0	回	D	令和2年1月に白井市避難行動要支援者避難支援プランを策定済。 新型コロナウイルス感染症拡大により、市の防災訓練は中止となった。 今後は小学校区別の防災訓練を実施していくので、地域に住む要支援者の避難を想定した防災訓練を検討していく。それに伴い実績の指標についても見直しを行う。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	0	回	D	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	0	回	D	
				<input checked="" type="checkbox"/> 未実施						
36	地域防災体制の支援	危機管理課	地域防災体制の支援 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 白井市避難行動要支援者支援計画全体計画(仮)を策定する。 白井市避難行動要支援者支援計画全体計画(仮)に基づいて行う。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	全体計画の策定	31	0	回	D	白井市避難行動要支援者避難支援プランを令和2年1月に策定済。 新型コロナウイルス感染症拡大により、地域の防災訓練は中止が多く、市職員の参加はなかった。 今後は要支援者の地域の支援体制について、地域の防災訓練を通じて自治会や自主防災組織と連携していく。それに伴い実績の指標についても見直しを行う。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	0	回	D	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	0	回	D	
				<input checked="" type="checkbox"/> 未実施						

基本方針	(5)生活困窮者に対する支援
施策の方向	①生活困窮者の早期発見と早期支援体制づくり

事業	庁内各課との連携体制の構築
取り組み目標	関係課や地域との連携により、生活困窮者を早期に発見し、早期から支援できる体制づくりを進める。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内各課と調整し、生活困窮者の早期発見、早期支援の体制づくりを進める。 ・地域団体との連携により、子どもの貧困の早期発見を図る。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
37	庁内連携体制の推進	社会福祉課	生活困窮者を早期に発見し支援を行うための庁内連携体制づくりの検討 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 各課の申請手続きや相談業務で把握した生活困窮者について、白井市くらしと仕事のサポートセンターの相談窓口の案内や窓口への同行の支援を全課に依頼する。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	税や公共料金の担当課、各種相談業務担当課からの相談の案内件数 (庁内からの相談件数/相談案件数)	31	71/176	県	A	平成30年度の生活困窮者自立支援法等の一部改正により、自治体の各部署間の連携や関係機関及び民間団体との緊密な支援体制整備に配慮することが努力義務化された。白井市でも庁内各課に白井市くらしと仕事のサポートセンターでの支援について周知し、各課で把握した生活困窮者を早期に自立相談支援窓口へつないでいる。経路別でみると保健・福祉部門以外からのつながりは少ないため、今後も更なる連携体制の強化を図っていく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	87/513	件	A	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	117/373	件	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						
38	地域団体との連携	子育て支援課	学習支援や食事の支援を行う団体等との連携会議の開催 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 年1から2回程度、団体との情報交換会を開催し、各団体の活動状況や運営上の課題について情報交換し、課題解決等を行う。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	会議の開催回数	31	0	回	D	子どもの学習支援を行う市民活動団体に対して、市が実施予定となっている学習支援事業についての説明会を1回実施した。 今後は各団体の活動状況や運営上の課題について、定期的に情報交換を行っていく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	0	回	D	
				<input checked="" type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	1	回	C	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

R4以降見直しあり

基本方針	(5)生活困窮者に対する支援
施策の方向	②自立支援対策の充実

事業	自立相談支援の実施
取り組み目標	面接や電話等による自立相談や住宅確保給付金など、生活困窮者の状況を把握し支援を進める。
主な取り組み	・くらしと仕事のサポートセンターを主体的な相談窓口として設置し、関係機関と連携しながら生活困窮者の支援を行う。 ・ハローワーク等の関係機関と連携しながら、生活困窮者の就労支援を行う。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
39	生活困窮者の複合的な課題を包括的に対応する窓口の設置	社会福祉課	生活困窮者等の相談窓口を設置する 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 経済的な問題の背景に、病気や障害、家族関係、虐待、DVなど様々な課題が潜在している可能性があるため、状況確認を丁寧に行い、課題の優先度や支援機関を決定して、関係する機関と連携して対応していく。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	相談受付件数のうち、複合的な課題を抱える世帯からの相談件数	31	99	件	A	白井市くらしと仕事のサポートセンターにおいて複合的な課題を抱える方からの相談に対応し、問題を整理して、優先度の高い課題から順に解決のための支援方針を立て、関係課や機関と連携して、自立に向けて問題解決を図った。 今後はひきこもりなどの社会的孤立となっている人に対する継続的な支援を行っていく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	255	件	A	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	215	件	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						
40	住居確保給付金による支援	社会福祉課	生活困窮者の状況により、住居確保給付金の支給 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 離職や廃業により、賃貸住宅の家賃の支払いが困難になった方からの相談に対応し、要件(年齢、資産、収入等)に該当する場合、住居確保給付金として、家賃の一部を支給する。 ホームページや保健福祉ガイドブック、リーフレットなどでの周知を図り、該当になると思われる人には制度に関する説明を行う。 支給対象者に対しては、就労支援を併せて行い、就職による生活の自立を目指す。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	上段:相談受付件数 下段:給付金申請者数	31	相談受付件数 3 給付金申請者数 0	件	A	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、支給対象者が拡大され、離職や廃業に加え、やむを得ない休業等により収入が減少した方も対象となり、年齢制限も撤廃された。家賃等の支払いに困難が生じている方から延べ46件の相談があった。 そのうち申請された方は8件で、給付金の支給と併せて、生活困窮者自立相談支援窓口での就労支援等継続的・定期的な関わりの中で自立へのサポートを行った。 今後も引き続き支援が必要な人へのサポートを行っていく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	相談受付件数 95 給付金申請者数 8	件	A	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	相談受付件数 46 給付金申請者数 8	件	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						
41	就労支援対策の推進	社会福祉課	ハローワーク等関係機関との連携 【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 白井市くらしと仕事のサポートセンターへの相談者のうち、就労による自立が見込まれる人に対して、ハローワークや市の無料職業紹介所との連携による支援により、自立した生活を目指す。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	上段:就労支援対象者数 下段:就職者数	31	就労支援対象者数 34 就職者数 9	件	A	市民や関係機関等から生活に関する相談があり、令和3年度に就労支援が必要と判断された人は延べ49人、また令和3年度に就労を開始した人は延べ31人となった。 今後は一般就労に向けた準備が整っていない人への支援について、検討を進めていく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	就労支援対象者数 26 就職者数 20	件	A	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	就労支援対象者数 49 就職者数 31	件	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

R4以降見直しあり

R4以降見直しあり

基本方針	(5)生活困窮者に対する支援
施策の方向	③子どもや若者に対する支援の充実
事業	子どもの学習・生活支援体制づくりの実施
取り組み目標	将来的に子どもや若者が困窮に陥らないようにするため、学習支援や相談支援を進める。
主な取り組み	・学習支援や食事の支援を行う団体等との情報交換などを行い、支援体制の確立を図る。 ・市内すべての中学校に相談支援員を配置し、教育相談を定期的に行うなど、子どもが抱える問題を把握し適切な支援を行う。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
42	学習・生活支援体制の確立	社会福祉課、子育て支援課	学習支援や食事の支援を行う団体等との連携会議の開催【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 年1から2回程度、団体との情報交換会を開催し、各団体の活動状況や運営上の課題について情報交換し、課題解決等を行う。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	会議の開催回数	31	0	回	D	子どもの学習支援を行う市民活動団体に対して、市が実施予定となっている学習支援事業についての説明会を1回実施した。 今後は学習塾等への委託による試行的実施の準備や、食事の支援を行う団体との連携に関する取組を進めていく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	0	回	D	
				<input checked="" type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	1	回	C	
				<input type="checkbox"/> 未実施						
43	教育相談の実施	教育支援課	教育相談の実施【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 週一回(長期休業中は除く。)、生徒、保護者、教員を対象にスクールカウンセラーによる教育相談を行い、必要に応じて関係機関につないでいく。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	相談件数	31	1,649	件	A	社会生活が多様化する中で、心の健康を保つことの必要性は高まっている。困り感を共有することで、相談者の自己有用感や自己存在感を高め、将来を考える一助になっている。即効性は薄いですが、今後も継続して支援していく必要がある。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	1,972	件	A	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	1,725	件	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

事業	子どもの居場所づくりの支援
取り組み目標	放課後の子どもの居場所を確保し、孤立化を防止をしていく。
主な取り組み	・学習支援や食事の支援を行う団体等との情報交換などを行い、支援体制の確立を図る。 ・学童保育施設や放課後子ども教室の充実を図り、放課後も子どもの居場所づくりを推進する。

評価の凡例 順調に進んでいる:A、概ね進んでいる:B、一部遅れがある:C、未実施:D

No.	取組項目	担当課	取組内容	進捗状況	実績の指標	年度	実績値	単位	評価	取組による成果、今後の課題や方針
42	学習・生活支援体制の確立 ※再掲	社会福祉課、子育て支援課	学習支援や食事の支援を行う団体等との連携会議の開催【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 年1から2回程度、団体との情報交換会を開催し、各団体の活動状況や運営上の課題について情報交換し、課題解決等を行う。	<input type="checkbox"/> 順調に進んだ	会議の開催回数	31	0	回	D	子どもの学習支援を行う市民活動団体に対して、市が実施予定となっている学習支援事業についての説明会を1回実施した。 今後は学習塾等への委託による試行的実施の準備や、食事の支援を行う団体との連携に関する取組を進めていく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	0	回	D	
				<input checked="" type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	1	回	C	
				<input type="checkbox"/> 未実施						
44	学童保育施設の適切なサービスの提供	保育課	学童保育施設の適切なサービスの提供【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 保護者が就労等により昼間家庭にいない就学児童のため、小学校の余裕教室や専用施設を利用し、小学校敷地内において保育サービスを提供する。また、白井第二小学校において、新たな学童保育施設を整備する。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	上段:実施箇所数 下段:入所児童数	31	12 633	箇所 人	A	全小学校に学童保育所を整備したことにより、保育が必要な児童に必要な保育サービスを提供することができた。 今後は適切な運営方法について検討していく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	12 646	箇所 人	A	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	12 596	箇所 人	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						
45	放課後子ども教室の運営	生涯学習課	放課後子ども教室の運営【具体的な取り組み、重点的に行うこと】 女性の社会進出の増加による、共働き世帯の子供の孤立化を防ぐなど、国が策定する放課後子ども総合プランに基づき、放課後子ども教室を実施する。 また、地域の実態やニーズを考慮し、放課後子ども教室拡充に向け、「放課後子どもプラン推進委員会」で新規の放課後子ども教室開設に向けて検討する。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んだ	上段:放課後子ども教室実施回数 下段:放課後子ども教室実施箇所数	31	71 3	回 教室	B	学童保育所と放課後子ども教室の一体型運営を目的として、池の上小学校の学童保育所を運営している事業者に池の上小学校放課後子ども教室の運営を委託し、令和4年1月より開始した。 今後は白井市放課後子ども総合プラン行動計画を策定し、当該計画に基づき、市内全小学校で放課後子ども教室の開設を目指していく。
				<input type="checkbox"/> 概ね進んだ		2	23 2	回 教室	C	
				<input type="checkbox"/> 一部遅れがある		3	41 3	回 教室	A	
				<input type="checkbox"/> 未実施						

